

○一時金を支出しなかった例

・皇室經濟會議（昭和22年10月13日開催）の議長説明及び議案

皇室經濟會議における議長説明

このたび故依仁親王妃周子^{カネコ}殿下外五十方の皇族が皇室典範第十一條、第十三條及び第十四條の規定により、昭和二十二年十月十四日を以て皇族の身分を離れられることとなつたのであります。これらの方々に對しましては、皇室經濟法第六條の規定により、皇族であつた者としての品位保持の資に充てる爲皇籍離脱の際の一時金たる皇族費を、國庫より支出することとなつてゐるのであります。この一時金は、皇室經濟法及び全法施行法によつて定められてゐる、皇族費の年額の十五倍に相當する金額の範圍内において、皇室經濟會議の議を経て定める金額

に よ る こ と と な っ て お り ま す 。

その金額に關しまして政府において準備いたしました取費は、お手許に配布いたしてあるものであります。以下これについて概略の説明を致します。

この一時金額は皇籍を離脱せられた凡ての方に差上ぐべきであります。元軍籍にあられた方々に對しては、諸般の事情を考慮し之を除き、その他の方々に對し、皇室經濟法及び全法施行法の規定にしたがつて算出したものであります。それぞれ御身分に應じた年金額に皇籍離脱後各御一家の中心とされるものと豫定せられます方々及び王妃については十五倍、その

他の方々については十倍強を乗じた金額であります。その結果は、お手許の歳案にありますように、例えば御當主たる王については御一方二百十萬圓、その他の王については百四十四萬九千圓、王妃については内親王たる王妃百五十萬圓その他の王妃百五萬圓、女王については七十四萬九千圓等となるのであります。

現下の經濟情勢に顧ますと必ずしも充分な金額とは申されませんが、諸般の情況を考慮する時は適當と認められる金額と考えております。

なお以上の一時金の支出に關しましては、本年度皇室費の追

加として四千七百四十餘萬圓を豫算に計上し、既に國會の議決を経てゐる次第であります。

以上議案を一括御説明致しました。よろしく御審議の上可決あらんことを願います。

昭和二十二年十月

皇室經濟會議機關

八號錫紙

宮
內
省

邦	朝	朝	朝	通	英	典	故	守	孚	誠	富	美	稔
昭	建	宏	子	子	子	子	多	正	彥	彥	久	乃	彥
王	王	王	女	女	女	女	嘉	王	王	王	子	子	王
駿	駿	駿	駿	駿	駿	駿	王	妃	賀	駿	駿	駿	駿
下	下	下	下	下	下	下	下	下	下	下	下	下	下

一四四九〇〇〇	一四四九〇〇〇	一四四九〇〇〇	一四四九〇〇〇	一四四九〇〇〇	一四四九〇〇〇	一四四九〇〇〇	一四四九〇〇〇	一四四九〇〇〇	一四四九〇〇〇	一四四九〇〇〇	一四四九〇〇〇	一四四九〇〇〇	一四四九〇〇〇
---------	---------	---------	---------	---------	---------	---------	---------	---------	---------	---------	---------	---------	---------

官
內
省

春仁王	紀子	素子	恒治	恒正	恒德王	肇子	遵久	故永久王	故成久王	俊彦	文子	信彦	盛厚王
妃直子	子女	子女	王	王	妃光子	子女	王	妃祥子	房子內親王	王	王	王	妃成子
殿下	殿下	殿下	殿下	殿下	殿下	殿下	殿下	殿下	殿下	殿下	殿下	殿下	殿下
一〇五〇〇〇〇	七四九〇〇〇〇	七四九〇〇〇〇	一四四九〇〇〇〇	一四四九〇〇〇〇	一〇五〇〇〇〇〇	七四九〇〇〇〇	三一〇〇〇〇〇〇	一〇五〇〇〇〇〇	一五〇〇〇〇〇〇	一四四九〇〇〇〇	七四九〇〇〇〇	一四四九〇〇〇〇	一五〇〇〇〇〇〇